

目黒区納税貯蓄組合連合会優秀賞

未来の社会に必要な税金の使い道

桜修館中等教育学校 三年

未来の社会は今とは大きく変わり、環境問題や高齢化、技術の進歩など多くの課題が待ち受けている。これらの問題を解決し、誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、税金が非常に重要な役割を果たす。

税金とは、国や地方自治体が私たちから集めるお金であり、社会全体の仕組みを支えるために使われている。たとえば、学校や道路といった公共サービスのほか、災害の復旧や環境保護などにも税金が使われている。私たちは買い物や働くことを通じて日常的に税金を納めているが、その使い道を理解することはとても重要である。税金がなければ社会は成立せず、未来においてもその役割は変わらない。

未来の社会で特に必要とされる税金の使い道の一つが、環境保護である。地球温暖化や自然破壊が進行するなかで、次世代に美しい自然や清潔な空気、水を残すことは、私たちの責任である。そのためには、再生可能エネルギーの開発や自然保護活動に税金を使う必要がある。環境問題を放置すれば、災害の増加や健康被害の拡大など、私たちの生活に大きな影響を与えることになる。

また、日本では少子高齢化が進んでおり、高齢者や社会的に弱い立場にある人々を支える福祉制度の充実も必要である。医療や介護のサービスを整えるためには、多くの人にとって必要な制度を安定して運営する資金が不可欠だ。さらに、人工知能やロボット技術などの進歩に対応するため、教育や技術開発への投資も重要である。未来を担う世代がこれらの技術を活用できるようになるためには、研究に税金を使うことが求められる。加えて、地震や台風といった自然災害が多い日本においては、防災設備やスマートシティの整備といった安全な街づくりにも税金を活用すべきである。

私は特に環境保護に力を入れてほしい。環境の悪化は、人々の健康や暮らしに悪影響を与えるだけでなく、経済や社会全体にも深刻な影響を及ぼすからである。税金を使って環境に優しいエネルギーを普及させたり、自然を守る活動を支援したりすることは、持続可能な社会を目指す上で、非常に重要な役割であると感じる。

このように、未来の社会をより良くするためには、税金の使い道をよく考え、無駄のないように使うことが大切である。環境保護、福祉、教育、災害対策など、必要な分野にしっかりと税金を使い、すべての人が安心して暮らせる社会をつくることが、今を生きる私たちの責任である。私自身、今後も社会のさまざまな問題に目を向け、税金の役割や使い道について関心を持ち続けたい。そして、未来の世代が安心して暮らせるような社会をつくる一員として、自分に出来ることを真剣に考えていきたい。